

## 2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月7日

上場会社名 株式会社免疫生物研究所

上場取引所 東

コード番号 4570 URL <https://www.ibl-japan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清藤 勉

問合せ先責任者 (役職名) 取締役事業グループ管理本部長 (氏名) 中川 正人

TEL 0274-22-2889

四半期報告書提出予定日 2020年8月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	116	2.9	101		127		129	
2020年3月期第1四半期	113	34.0	104		127		124	

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 129百万円 ( %) 2020年3月期第1四半期 124百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	13.85	
2020年3月期第1四半期	14.28	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	2,232	1,819	81.4
2020年3月期	2,372	1,948	82.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 1,817百万円 2020年3月期 1,946百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		0.00	0.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	549	4.8	308		410		430		46.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社グループの業績予想は、「中期経営計画」をベースに作成しており、その達成(施策等)においては、年間を通して評価を行っております。そのため、業績予想は通期業績予想値のみを開示いたしました。

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	9,314,590 株	2020年3月期	9,314,590 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	1,130 株	2020年3月期	1,130 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	9,313,460 株	2020年3月期1Q	8,723,460 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、前連結会計年度から引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けておりますが、特定製品の継続取引における受注が増加いたしました。その結果、売上高は116,598千円（前年同期比2.9%増）となりました。利益面においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、営業部門の諸経費が減少しましたが、遺伝子組換えカイコ事業において抗HIV抗体のバイオ医薬品にむけた開発の進捗に伴い研究開発費が増加したことにより販売費及び一般管理費が増加いたしました。その結果、営業損失は101,611千円（前年同期は104,480千円の営業損失）となりました。また、営業外収益に国の持続化給付金2,000千円（2020年6月12日に公表の「営業外収益の計上に関するお知らせ」参照。）を補助金収入として計上した一方、営業外費用に関係会社の持分法による投資損失を26,392千円計上したこと等により経常損失は127,681千円（前年同期は127,850千円の経常損失）となりました。以上より、親会社株主に帰属する四半期純損失は129,074千円（前年同期は124,603千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

なお、2020年5月14日に公表の「2020年3月 期決算短信〔日本基準〕（連結）」において未定としておりました2021年3月期の連結業績予想（通期）及び中期経営計画について、2020年8月6日に「2021年3月期連結業績予想（通期）に関するお知らせ」及び「2021年3月期通期連結業績予想及び中期経営計画修正に関するお知らせ」並びに「抗HIV抗体の製造方法の変更および資金使途変更に関するお知らせ」を公表しておりますので、ご参照ください。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ・診断・試薬事業

研究用試薬関連の売上高につきましては、当社の主力製品であるEIAキットや抗体において、国内外の各取引先が、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、研究活動や事業活動が停滞していた影響により前年比30%程度売上高が減少しております。また、試薬受託サービスにつきましては、企業からの受注は比較的継続しており、大きな影響はなく、前年同期と比較するとほぼ同等の売上を計上できております。しかしながら、取引先の活動状況が停滞していることや当社営業部門の営業活動も制約を余儀なくされている状況のため、今後、前年並みの売上回復は、厳しい状況と予想しております。

一方で、医薬用関連の売上高につきましては、主力である動物用体外診断用医薬品の牛海綿状脳症測定キット（BSEキット）の需要は近年縮小しておりますが、当第1四半期において売上計上することができました。

その結果、当セグメントの売上高は91,394千円（前年同期比3.9%増）、営業損失は16,584千円（前年同期は19,467千円の営業損失）となりました。

#### ・遺伝子組換えカイコ事業

当事業においては、iPS細胞等の培養足場材として有用であるラミニン511-E8のほか各種抗体や受託等の売上が前年同期に比べ増加しております。また、当事業におきましては、抗HIV抗体をはじめとするバイオ医薬品開発ならびに、その製造技術の開発に注力しており、事業の重点を研究開発に置いております。なお、抗HIV抗体の生産については、2020年8月6日に「抗HIV抗体の製造方法の変更および資金使途変更に関するお知らせ」を公表しておりますので、ご参照ください。

その結果、当セグメントの売上高は12,034千円（前年同期比97.6%増）、営業損失は70,127千円（前年同期は74,723千円の営業損失）となりました。

#### ・検査事業

当事業においては、診断・試薬事業同様、新型コロナウイルス感染症拡大による影響が大きく出ており、主力事業である、血中リポタンパク質プロファイリングサービス「LipoSEARCH」に関連する取引先での活動が著しく停滞しております。また、国内製薬メーカーにおける脂質異常症治療薬の開発は減少しており、これまでのような大型案件の受注が期待しにくい状況です。一方、食品関連企業やCROにおいては当サービスの需要が見込まれるため、当該分野への営業活動に力を入れている状況であります。さらに、動物向けサービス「LipoTEST」は、堅調な売上を計上できており、オンラインセミナー等の開催により継続して取引拡大を目指しております。

その結果、当セグメントの売上高は11,665千円（前年同期比35.1%減）、営業損失は9,443千円（前年同期は5,804千円の営業損失）となりました。

#### ・化粧品関連事業

当事業においては、「ネオシルク®-ヒト型コラーゲンI」配合化粧品「フレヴァン」シリーズにつきましては、国内通信販売の売上は前年同期と比較し若干の減少となりました。また、中国の商標問題につきましては、鋭意当局と情報交換を行っております。一方、欧州においては、「フレヴァン」の通信販売サイトが完成し、今後、欧州での販売が開始される予定です。また、Giuliani S.p.A社（1889年創業の老舗イタリア製薬企業）は、当社の開発したネオシルク®-ヒト型コラーゲンIを配合した注射医療器具をイタリア製薬ベンチャ企業303 Pharma S.R.L.社と共同開発し、クラス3（93/42/EEC/CE認証）として登録を完了致しました。なお、当該製品は、Giuliani S.p.A社により製造・販売される予定です。

その結果、当セグメントの売上高は1,777千円（前年同期比11.1%減）、営業損失は、5,695千円（前年同期は

4,724千円の営業損失)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末比5.9%減の2,232,642千円となりました。この主な要因は次のとおりであります。

現金及び預金が55,277千円減少したこと、受取手形及び売掛金が22,936千円減少したこと及び投資有価証券が26,392千円減少したこと等によるものであります。

現金及び預金の減少につきましては税金の還付による入金や売掛金の回収が進んだものの、親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したこと等により収入より支出の方が多かったこと等によるもの、受取手形及び売掛金の減少につきましては、前第4四半期連結会計期間の売上より当第1四半期連結累計期間の売上が減少及び回収が進んだこと、投資有価証券の減少につきましては持分法適用関連会社の投資損失の計上によるものであります。

### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は前連結会計年度末比2.7%減少し、413,260千円となりました。この主な要因は1年内返済予定の長期借入金を含む長期借入金の返済が16,500千円あったこと等によるものであります。

### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は前連結会計年度末比6.6%減少し、1,819,382千円となりました。この要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により繰越利益剰余金が129,074千円減少したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月14日に公表の「2020年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりました2021年3月期の連結業績予想(通期)及び中期経営計画について、2020年8月6日に「2021年3月期連結業績予想(通期)に関するお知らせ」及び「2021年3月期通期連結業績予想及び中期経営計画修正に関するお知らせ」を公表いたしました。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,033,617	978,340
受取手形及び売掛金	171,093	148,157
商品及び製品	56,963	55,229
仕掛品	133,522	132,681
原材料及び貯蔵品	154,302	150,219
その他	43,489	12,619
流動資産合計	1,592,990	1,477,247
固定資産		
有形固定資産		
土地	113,781	113,662
有形固定資産合計	113,781	113,662
投資その他の資産		
投資有価証券	595,572	569,180
その他	70,645	72,552
投資その他の資産合計	666,217	641,732
固定資産合計	779,999	755,395
資産合計	2,372,989	2,232,642
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,978	2,881
1年内返済予定の長期借入金	66,000	56,000
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	200,000	200,000
賞与引当金	18,537	7,932
その他	108,246	116,535
流動負債合計	397,762	383,349
固定負債		
長期借入金	20,000	23,500
退職給付に係る負債	6,769	6,410
固定負債合計	26,769	29,910
負債合計	424,532	413,260
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,029,041	3,029,041
資本剰余金	2,061,421	2,061,421
利益剰余金	△3,142,182	△3,271,257
自己株式	△1,990	△1,990
株主資本合計	1,946,291	1,817,216
新株予約権	2,166	2,166
純資産合計	1,948,457	1,819,382
負債純資産合計	2,372,989	2,232,642

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	113,323	116,598
売上原価	62,522	58,715
売上総利益	50,801	57,883
販売費及び一般管理費	155,282	159,494
営業損失(△)	△104,480	△101,611
営業外収益		
受取利息	1	1
補助金収入	—	2,000
その他	175	149
営業外収益合計	176	2,150
営業外費用		
支払利息	267	206
為替差損	2,377	1,621
新株発行費	954	—
持分法による投資損失	19,947	26,392
営業外費用合計	23,546	28,220
経常損失(△)	△127,850	△127,681
特別利益		
持分変動利益	4,390	—
特別利益合計	4,390	—
特別損失		
減損損失	237	118
特別損失合計	237	118
税金等調整前四半期純損失(△)	△123,698	△127,800
法人税、住民税及び事業税	905	1,274
法人税等合計	905	1,274
四半期純損失(△)	△124,603	△129,074
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△124,603	△129,074

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
四半期純損失(△)	△124,603	△129,074
四半期包括利益	△124,603	△129,074
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△124,603	△129,074
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。